

26年2月分

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成26年 1月20日～ 26年2月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の間屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
2月分の回答企業数は44社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)−(「減少」の評価を行った回答の割合)×2−(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/2月	3月	4月
仕入動向	国産材	△ 4.3	△ 2.9	△ 14.1
	外材	0.0	0.0	△ 3.8
販売動向	国産材	△ 5.9	2.9	△ 16.7
	外材	△ 4.8	2.4	△ 8.8
在庫動向	国産材	△ 7.6	△ 17.2	△ 4.8
	外材	△ 7.1	△ 9.8	0.0

仕入れは、国産材はやや減少傾向で推移、外材は、2、3月の横ばいが4月はやや減少。販売は、国産材及び外材共に2月のやや減少が3月の微増を経て4月には減少に。在庫は、国産材は、減少傾向で推移、外材は2、3月の減少が4月は横ばいに。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	26/2月	3月	4月
スギ正角(グリーン)	34.0	14.0	△ 4.3
スギ正角(KD)	39.3	17.9	△ 5.8
ヒノキ正角	41.7	18.3	△ 12.1
ヒノキ土台角	37.0	12.5	△ 14.8
米ツガ正角(現地挽)	23.2	23.2	3.7
米ツガ防腐土台角	28.6	19.6	1.9
米ツガ割物(現地挽)	27.6	24.1	3.6
米マツ平角	46.3	23.1	2.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	20.7	17.2	1.9
ホワイトウッド集成管柱	35.0	20.7	1.9
レッドウッド集成平角	38.0	26.0	2.1
型枠合板(輸入)	59.6	32.0	2.1
針葉樹構造用合板	61.5	44.0	6.3
針葉樹構造用合板(厚物)	64.0	43.8	10.9

スギ正角のグリーン及びKD共に2、3月の強含みないし強保合が4月にはやや弱保合に、ヒノキ正角及び土台角共に2、3月の強含みないし強保合が4月には弱保合に。米ツガは正角、防腐土台及び割物共に2、3月の強保合が4月にはほぼ保合に。米マツ平角は2、3月の強含みないし強保合が4月にはほぼ保合に。北洋アカマツタルキは2月のやや強保合が4月にはほぼ保合に。WW集成管柱及びRW集成平角は2、3月の強含みないし強保合が4月にはほぼ保合に。合板は、型枠が2、3月の強含みが4月は、ほぼ保合に、針葉樹構造用及び同厚物共に、2、3月の強含みが4月にはやや強保合に。

モニターからのコメント

〈モニターからのコメント〉

1. 荷動き	
仕 入 れ 動 向	<p>米マツ一般材丸太は USA 物 1 月積輸出価格は前月に引き続き値上げ、カナダ物もオールド、セコグロとも値上げ。アラスカスプルス丸太は新規伐採許可が出ておらず今年もオールド材の入荷は大幅減少の予想。(東京：米材問屋) 久し振りにスプルスが少量入荷したが、相変わらずの産地高止まり、円安により採算悪化の一途をたどっている。(東京：米材問屋) 仕入れを増したいが、なかなか現状では難しい、為替、円安と先高感があるため。(東京：外材問屋) 外材は不足感なし。(東京：外材問屋) 国産材はまだ入荷少ない。外材は仕入れに困るものは、なくなっている。(東海：外材問屋) 2 月は仕入れを若干抑える予定。3 月は仕入れしながら売っていく。(東京：集成材問屋) 船便の都合で入荷なし。(東京：中国南洋材問屋) 旧正月の関係で中国材の入荷激減、本格入荷は 2 月末からと見込まれる。(東京：中国南洋材問屋) 産地は雨天多く出材少ない。最低労賃の上昇とロイヤリティの上昇でコストアップ。(東京：中国南洋材問屋) 欠品が出て仕入れに積極的になれない。(東京：国産材問屋) 原木不足から品薄で、良材の製品少ない。(東京：国産材問屋) どの材も一斉に上げて、様子を見ながら必要な分だけ仕入れている。(東京：仲買・小売) 国産材、外材共に需要に合わせた仕入れはできている。(東京：仲買・小売) スギ、ヒノキの入荷が減少中、角材は間柱等が逼迫、ヌキは産地生産能力ダウンのため入荷薄い。外材は、ツガ及び WW が品薄。(東京：仲買・小売) 3 月は駆け込み需要を期待し強気の仕入れ、4 月は下がり相場なので仕入れを控えたい。(東海：仲買・小売) 相変わらずヒノキ土台、柱、大引用材、KD 製品間に合わず。(東海：仲買・小売)</p>
販 売 動 向	<p>米マツ一般材丸太京浜マーケットではメーカーへの大型物件注文材は堅調だが、プレカットルートからの引き合い減少。問屋は続伸するコストの転嫁に苦慮。(東京：米材問屋) スプルスの高値仕入れ材入荷で高唱えしているが客の反応今ひとつで売れ行き芳しくない。低級材は即完売も上級材の売れ行きは全くダメ。(東京：米材問屋) 2 月に入って得意先からの引合いは減った、1 月は (昨年の 4 月より) 最高の売上げ。(東京：外材問屋) 1 月をピークに売れ行きは落ちてゆくと思われ。(東京：外材問屋) 国産材は入荷少なく、販売量も少ない。外材はプレカット好調で売れ行き良い。(東海：外材問屋) 米マツの値上がりにより益々利益率悪くなりそう。(東海：外材問屋) 2 月はいつも一番売り上げ悪いので落ちる、3 月は駆け込み需要があり売り上げ増と予想。(東京：集成材問屋) 品薄と先高感から良いはず。(東京：中国南洋材問屋) 中国材は在庫少なく、引き合い活発、南洋材は入荷少ないが、足りない。特定サイズだけの買いが目立つ。(東京：中国南洋材問屋) 年度末に向い見積件数は増加しているが単価厳しく仕入れ上昇分の転嫁が追いつかない。(東京：中国南洋材問屋) 荷動きが良いと言うほどではない。注文材、造作材の動きは良い。(東京：国産材問屋) 1 月中旬以降、荷動き悪い。ただ見積自体は増加。(東京：国産材問屋) 工期が 3 月までの仕事が多く、職人は不足している。4 月以降は仕事も少ないが、請負う方も値上げをしなければ採算が取れないだろう、2-3 割高か。(東京：仲買・小売) 動きは良い状態が続いている。(東京：仲買・小売) 国産材の大きな荷動きはない。間仕切材としてアカマツ材が増加。(東京：仲買・小売) 稼働日数少なく 2 月は販売減少、3 月は駆け込み最終月で少し伸び、4 月は反動減と予想。(東京：仲買・小売) 町の建築屋さんの仕事が減り、木材販売も少なく暇、忙しいのは大手さんだけ。(大阪：仲買・小売) 3 月は今年一番動きが良いと予想。4 月は駆け込みの反動で動き悪くなり、相場も下げ基調と予想。(東海：仲買・小売) 荷動きが限界を超え、異常な事態。(東海：仲買・小売)</p>
在 庫 動 向	<p>京浜港米材原木の不良在庫は見当たらず需給バランスは保たれている。スプルスカスタムカットの在庫は一部アイテムに品薄感強い。(東京：米材問屋) 昨年末先行上昇したスプルス色物製品は高値が嫌われ樹種転換が進み、上級品中心に在庫積み上がってきている。(東京：米材問屋) 当社の在庫はかなり減少。(東京：外材問屋) 国産材は来月当たりから仕入れ易くなりそうで在庫増、外材は、ほぼ横ばいと予想。(東海：外材問屋) 在庫は今が一番多いが、3 月は減ると思う。(東京：集成材問屋) 適正になったが次の入荷が遅れるので、また、不足気味。(東京：中国南洋材問屋) 1, 2 月は在庫がタイトになっている。(東京：中国南洋材問屋) 欠品アイテムが増えてきた。(東京：中国南洋材問屋) 良材はこの時期に少しずつでも手当てしてゆく。(東京：国産材問屋) 仕入れが少ない分減っている。(東京：仲買・小売) 国産材、外材共に在庫は通常通り。(東京：仲買・小売) 3 月には仕入れ安定し、在庫増と予想。(東京：仲買・小売) 2 月はやや落ち着いているので様子見状況、3 月は売りが活発化するので欠品材が出る可能性大。(東海：仲買・小売)</p>

<価格動向>

スギ正角	プレカットの受注がやや少なくなっている。価格は落ち着くと予想。(東海：外材問屋) 仕入れ価格の急な上昇について行けない。(東京：国産材問屋) 在来ルートでは新築駆け込み需要は終わった様子。構造材荷動き不振、価格保ち合い。(東京：国産材問屋) 2月末までに不足感は解消されると思う。(東京：国産材問屋) 4月は分からない、3月までは強い。(東京：仲買・小売) 引続き品薄価格上昇。(東京：仲買・小売) KDは価格が天井で3月以降は下落する?!(東京：仲買・小売) 高値で品不足。(大阪：仲買・小売) 少し入荷が増えてきた感じ。(大阪：仲買・小売) KDは高値横ばい、3月のみは品不足感あり。(東海：仲買・小売) ほとんど流通しない。(大阪：仲買・小売)
ヒノキ正角土台角	現在はまだ品不足で価格上昇。3月には横ばいと予想。(東海：外材問屋) 引続き品薄価格上昇。(東京：仲買・小売) 価格は天井で3月以降は下落する?!(東京：仲買・小売) 少し入荷が増えてきた感じ。(大阪：仲買・小売) 3m×12角は量的に多くやや弱い、3m×10.5角は少なめでやや強い。土台の出材多く弱含み、4m×12角は下落、4m×10.5角は欠品気味強含み。(東海：仲買・小売) 品薄状態。(東海：仲買・小売) ヒノキ離れは進む。(大阪：仲買・小売)
米ツガ	現状では仕入れ値UPしても売りに転嫁できず。4月以降の新規の仕事が今の所分からないためプレカットも積極的に仕入れに動いていない。(東京：外材問屋) 入荷少なく、価格やや上昇。(東海：外材問屋) 4月は判らない、3月までは強い。(東京：仲買・小売) 仕事は2月に入り落ち着いたというより、ヒマになった。国産スギ等は相変わらず品薄、値上げ傾向、商売がやりにくい。(東京：仲買・小売) 現地挽材じわじわ上昇。(東京：仲買・小売) 防腐土台は2月に値上げ、現地挽も値上げ予想、角材は在庫処分と入荷安定で下落気味。割物はプレカットグレードが品薄で値上げ模様。今後の為替と商社の交渉次第。(東京：仲買・小売) ほとんど流通せず、ヒノキからのシフトも。(大阪：仲買・小売)
米マツ平角	もう一回値上げしたいが売れ行きを見てから。(東京：外材問屋) 年末に値上げした後は落ち着く。(東海：外材問屋) 円安が進まなければ現状維持か。(大阪：仲買・小売)
北洋アカマツタルキ	横ばい。(東海：外材問屋) 価格はやや弱い、それ以上に質が低下している。(東京：仲買・小売) 為替の影響が懸念されるが、オファーが少ない状況。(東京：仲買・小売) 良品は少ない。(大阪：仲買・小売)
WW・RW集成材	もう少し値上げしたいものの売れ行きがもう一歩のため足踏み。(東京：外材問屋) 現在使用中のラミナが高く、値上げしたが需要やや落ち着いてきたので様子見。(東海：外材問屋) 1月の仕事の前月ほど忙しなかったのも、メーカーは値上げしたかったが上げず。仕事が出れば価格上昇しよう。(東京：集成材問屋) WWは駆け込み終了後は値下げでは?、RWは現状維持か。(東京：仲買・小売) メーカーは強気です。(大阪：仲買・小売)
合板	品不足、まだ上昇。(東海：外材問屋) 合板12mm関係は、針葉樹の品薄で輸入の12mmも品薄、急激な価格上昇、円安も影響しているのか?早く落ち着いてもらいたい。(東京：仲買・小売) ラワンが一気に上昇、針葉樹はものが少ない割に上がり幅が小さい。(東京：仲買・小売) 針葉樹の手当が難しく、買えるものは値段がかなり高い。本当の相場が判らない。(東京：仲買・小売) 先月に引き続き合板全般で品薄状態続く。(大阪：仲買・小売) 品物はありそうだが、入荷の度に値段が上がっている。(大阪：仲買・小売) 合板、特に針葉樹は価格不明、納期末定ということで見積もできず商いにならない。メーカーはフル生産しているというのに、どこに流れているのか?。未だ、アベノミクスの恩恵が回ってこない。(大阪：仲買・小売) 品薄状態。(東海：仲買・小売) 今後もジリジリ上がりそうです。(大阪：仲買・小売)